

Okayama Research Park Incubation Center

ORIC NEWS

翔飛

ひし
よう

入居企業紹介 株式会社 農

農 株式会社 MINORI



(球菌：球形の乳酸菌)



(桿菌：棒状の乳酸菌)

【株式会社 農 概要】

株農は「予防医学の視点を取り入れた食の創造と人の健康に貢献する」を企業理念とし、乳酸菌の優れた機能性に着目した商品開発に取り組んでいる。当社は平成21年9月に会社設立。現社長である朝比奈学之氏が岡山大学農学部畜産食品機能学の研究室で社会人研究生として学んだことをきっかけに、同じく同研究室出身の原和志氏（現研究所長）の2名で設立された大学発ベンチャー企業。以降、岡山大インキュベーターに入居し岡山大学との共同研究に取り組んできた。平成31年4月より ORIC へ移転、新たな環境で、これまで行ってきた研究開発テーマの商品化、事業化を目指している。



【株式会社 農 HP】

— 本号の主な内容 及び ORIC 連絡先 —

入居企業紹介 (P.2 株式会社 農)

交流会・セミナー活動 (P.3-4 2019年4月~6月)

展示会出展 (P.4)

入居案内 (P.4)

No.65 (2019.7)

飛翔発行元：岡山リサーチパークインキュベーションセンター

〒701-1221 岡山県岡山市北区芳賀 5303

TEL：086-286-9116 FAX：086-286-9117 E:mail：info@oric.ne.jp

【公式 HP】 <http://www.oric.ne.jp>

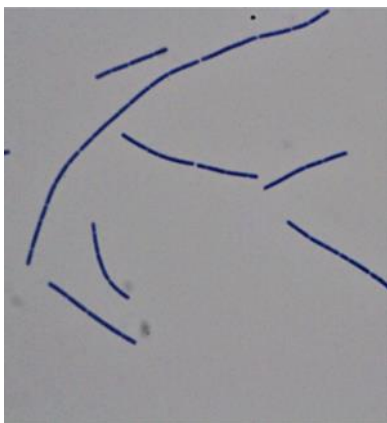
OKAYAMA
RESEARCHPARK
INCUBATION
CENTER

【最近の乳酸菌市場】

最近スーパーの食品売り場を歩くと「乳酸菌」と書かれた商品が数多く目に飛び込んでくる。ヨーグルトからグミ、調味料、酢など種類は幅広い。いずれも乳酸菌を含めることで胃腸の動きをよくしたり、免疫力を高めたりする効果をうたう。成長する乳酸菌入り食品市場、健康ブームの後押しを受けて、食品素材としての機能性乳酸菌市場は約 4,000 億円（平成 30 年 富士経済）規模となっている。一方で市場は PB 化に動いており、よりオリジナリティのある発酵素材の提供も求められている。

【研究開発テーマ】

当社は乳酸菌を代表とする有用微生物を世界各地から収集し、その生理機能を探索して食品・医薬品・飼料などへの応用を目指した研究を行っている。また、岡山大学との共同研究については、乳酸菌の生成する抗菌物質に着目し、植物・動物・微生物を起源とした抗菌作用を持つ化合物で、害がなく長期間にわたり食品として人に食べられてきたものを利用した食品の保存技術（バイオプリザベーション）に取り組んでいる。当社の強みは元岡山大学農学部 宮本教授（現くらしき作陽大学食文化部長）が保有する約 2,000 菌株の乳酸菌を引継いで、自社所有としていることである。その中から有用な乳酸菌を選定し、食品関連などの新たなビジネスへの実用化を目指しているもので、自社所有乳酸菌を活用することで他社との差別化が容易となっている。



乳酸菌 MSC003
(特許第 5622110 号)

【これまでの研究実績】

これまでに抗菌物質を生産する乳酸菌 MSC003（特許第 5622110 号）が国内の飼料会社に採用され、ウシ・ブタ向けの発酵飼料や生菌添加剤として使用されている。従来の乳酸菌は少ない菌種にしか抗菌作用を示さないものが多かったが、この乳酸菌は多くの菌種に抗菌作用を示すのが特徴である。このほか発酵防止、保存料としての利用も見込まれる。また、岡山県産の清水白桃から乳酸菌発酵白桃エキスの開発に成功している。この発酵エキスは保湿作用があり、美肌効果を有する新しい化粧品素材としての利用が見込まれている。



【今後の展望】

自社所有の乳酸菌、2,000 菌株の機能分析（抗菌性・耐酸性・粘性物質生産性）は未だ道半ばであり、機能が明らかにされていないものも少なくない。今後段階的に各種機能分析による多様な菌株のデータベースを構築し、メーカーに対する有用菌株や技術の提供につなげていく方針。また、メーカー側にとっても、優れた機能を持つ乳酸菌の活用や公表データで有用性をアピールすることで付加価値のついた商品の提供、売上アップにつながることを期待される。競争激化の中で拡大する乳酸菌市場、当社は新たな機能性乳酸菌の開発による社会貢献に向けて、一層の飛躍を目指している。

株式会社 農

2009年8月設立 代表者：朝比奈 学之 資本金：1,000万円

HP：https://www.minori-lab.com

Mail：hara@minori-lab.com

事業内容：乳酸菌を用いた食品、飼料、化粧品などの販売

交流会・セミナー活動

■ 2019年4月度交流会

4月の交流会では佐藤センター長より「ORICの2019年度の活動方針」についての説明をさせて頂き、その後「入居企業の紹介」を実施致しました。基本的には、昨年度に続き入居企業の成長促進を図るべく活動をしていくことをベースとしています。

昨年度との大きな変更点は、主に下記の項目です。

①「ORIC内での入居企業向けの出張旅費制度」... 既存制度に比べ、より利便性が高い制度となっています。入居企業の方で、展示会出張される方は是非ご一読を！

②「ORIC プチ勉強会」... 入居企業のニーズを基に、「講義 + 実践」スタイルで今年度より開始。現在財務関係の勉強会を実施していますが、「希望テーマ」があればIMまでお声かけください！

引き続き、入居企業の事業成長促進に併せ、ORICの利便性向上に向けた取り組みを実装していく予定です。

一方で、交流会にご参加頂いた企業様には一言ずつ「会社概要・事業内容」についてご紹介頂きました。

入居企業の皆様方においては、普段自社事業展開に熱心に取り組まれておられると思いますが、本件のような異業種交流を通じてネットワークを構築していくこともORIC活用の一つの利点と考えられます。是非、ORIC内での交流も深めて頂きつつ、「新しいものづくり・IT開発」に挑戦を続けて頂ければと思います。



■ 2019年5月度交流会

5月23日(木)、ORIC中庭で恒例の春のバーベキュー交流会を開催しました。当日は5月晴れの良い天候に恵まれた中、総勢70名の参加を頂きました。

今回は新たな施策として、「入居企業のプレゼン」を織り込み、ファイン・バイオメディカル(株)、(株)白獅子の2社に登壇頂きました。ファイン・バイオメディカル(株)は、「血管内治療の技術トレーニング用のテーラメイド超精密手術シミュレータ」について、(株)白獅子は、「知識と言語の壁を超える」をテーマとしたVRコンテンツについてご紹介を頂きました。両社の研究内容についてご興味のある方は、直接会社様へお問い合わせ頂ければと思います。

アウトプットしていくことで、自社の立ち位置やプレゼン能力の向上にも繋がると考えますので、次回以降も継続していくことを考えています。



■ 2019年6月度交流会

6月の交流会では一般財団法人岡山経済研究所より中野講師をお招きして「成果を上げるコーチング活用法」についてご講演頂きました。これから組織体として大きく成長していく起業家の方にとって、社長（上司）としては「部下のモチベーションを如何に上げるか」、「コミュニケーションを如何に上手に取るか」ということも大切になってきます。本セミナーでは、「コミュニケーションを取ることでの信頼関係構築」、「コーチングとティーチングの組み合わせ・使い分け」などについて講演に加え、体験型のグループワークを実施頂きました。



展示会 出展

■OPU フォーラム 2019 出展

5月29日岡山県立大学で開催された「OPU フォーラム 2019」にブース出展しました。当該イベントは、岡山県立大学が取組んでいる産学官民の連携による教育研究や社会貢献活動を広く地域の企業・団体の方々に知っていただくため、毎年開学記念日(5月29日)頃に開催されています。今年も、「食と暮らしの再発見」をテーマとし、大学の研究展示の外、ORICも含め30件の企業団体の研究展示が行われました。ORICとしては本件のような機会を通じて、県内大学の研究者との連携のきっかけづくりと共に、引続き「産学連携」に取り組んでいく方針です。



入居者募集中！！

センターでは随時入居のご相談に応じています。お気軽にお問合せください。

■ 施設使用料 (2019年7月現在)

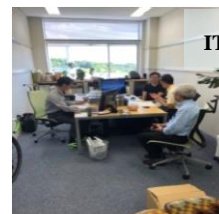
施設区分	面積	使用料の月額 (減額後の使用料 ※)
研究室小	約 25 m ²	46,280 円 (23,140 円)
研究室大	約 50 m ²	90,510 円 (45,255 円)
試作開発室	約 100 m ²	180,000 円 (90,000 円)
創業準備室	5 m ² /ブース	5,000 円

※創業5年未満の会社は、入居後3年間は半額になる制度があります。

Before



After



【TEL】 086-286-9116

【公式 HP】 <http://www.oric.ne.jp>